

【リバティおおさかの沿革】

- 1980年 1月 大阪人権歴史資料館の設立を構想
- 1982年 8月 大阪人権歴史資料館設立準備室を設置、
11月 財団法人を設立、初代理事長・和島岩吉
- 1983年 5月 第1回「ミニ人権展」を開催
- 1984年 4月 大阪人権歴史資料館事務局を設置
- 1985年 12月 大阪人権歴史資料館として開館、初代館長・藤原恵
第1回特別展「なにわ再発見—太鼓のふるさと」を開催
- 1988年 6月 第1回企画展「狩人の夢—オーストラリア・アボリジニーの世界」を開催
- 1990年 12月 開館5周年記念式典を開催
- 1995年 12月 増築とリニューアルオープン、大阪人権博物館に改称
- 1997年 10月 開館以来の入館者 50万人
- 2004年 2月 開館以来の入館者 100万人
- 2005年 12月 2度目のリニューアルオープン
- 2010年 12月 常設展示を一部変更
- 2012年 3月 財団法人から公益財団法人に移行
- 2013年 4月 大阪府・大阪市の補助金停止によって自主運営を開始
- 2015年 10月 大阪市との間で民事裁判を開始
- 2020年 5月 再出発に向けて休館、開館以来の入館者 170万人
6月 民事裁判で大阪市と和解
- 2021年 8月 第1回移動展「部落問題って何だろう？」を開催
- 2022年 8月 大阪公立大学に人権資料の保存管理、研究教育、展示公開を要請
- 2023年 4月 大阪公立大学とリバティおおさか資料移管協議会を設置